

# News Letter

病院は遠くても

麻酔科 片岡 由紀子



救急車に乗ったことはありませんか？  
御自身の病気やけが、あるいは御家族や友人に付き添われた経験をお持ちの方もおられるでしょう。  
総務省消防庁によりますと、昨年救急車で搬送された方は約54万人、年々増加し続けており、その理由として高齢者のけがや急病が増えていることが指摘されています。  
また19番通報を受けてから救急車が病院に到着するまでの時間は全国平均39分と年々遅くなっており、出勤要請の増加に対応するため遠くの消防署から救急車を向かわせるケースが増えたり、人員不足などで対応できない病院が増えたため遠方の救急病院まで

走らなければならぬといった深刻な事情があるようです。

高齢化の進む高知県では、重症化しやすく既に治療中の重病をもつ患者さんも多く、山間部から中心部の大きな病院へ集中的に搬送される結果、救急車や病院だけでなく、患者さん自身の不利益が心配されてきました。

新聞報道などで御存知の方も多いと思いますが、昨年4月より高知県が新しく導入した救急情報システムによって、救急車内の患者さん情報をインターネットで病院が入手できるようになりました。

従来救急隊と病院が電話でやり取りしていた情報を県内全ての救急車と救急病院が同時に共有できるため、救急隊は受け入れ病院を円滑に選定でき、病院側は搬送中の容態や急な変化も迅速に把握することができ、両者の連携を強化するツールとして期待されています。

患者さんの病状や付き添いの方が提供下さる必要な情報を

最前線の救急隊がより早く病院に伝えることができれば、より早く適切な治療の準備にとりかかれる可能性があります。

また、訓練を積んだ救急救命士が乗車している場合は、医師と連絡をとりながら、救急車内で点滴をしたり低血糖を診断してブドウ糖を投与することができ、以前は病院到着後に行なっていた処置を救急車内で始められるケースも今後増えていくでしょう。

救急車が病院まで走る時間は同じでも、みんなの協力で治療開始までの時間を縮めることができるかもしれません。

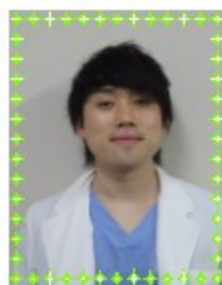


## a profession 〈専門職〉

『a profession』では当院で働く『専門職』スタッフを取り上げ、その人の担当業務や仕事に対する思いを紹介しています。今回は、新しく赴任して来られた先生を紹介합니다。

### 医局 外科

津田 晋 先生



Q1 あなたの担当業務を教えてください。

A1 外科を担当させていたでています。

Q2 現在の職業（職種）を選じた理由を教えてください。

A2 人と関われる仕事に就きたく選択しました。

Q3 業務を通じて、今までで最も心に残っている出来事があれば教えてください。

A3 どれか一つエピソードを選ぶことは難しいですが、患者さんに「ありがとう」と言っていただけだった時は、この仕事を選んでよかった、ということも感じます。

Q4 あなたの好きな言葉、あなたの信念において指標としている言葉を教えてください。

A4 人にやさしく

Q5 広報誌の読者（院内スタッフ、患者さん、その他一般の方）へのメッセージをぜひ！

A5 この病院に赴任して半年が経ちましたが、楽しく働かせていただいています。今後ともよろしくお願ひいたします。

## やさしい食生活

### 栄養科

日ごとに涼しくなる日が増え、秋の訪れを感じますね。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋です。

美味しい旬の味覚について食べ過ぎてしまうこともあります。季節の変わり目は朝夕と日中の気温の変化があるので、体調を崩しやすくなります。風邪などひかないように体調管理に気をつけ、食事は栄養バランスの良い食事をこころがけましょう。

【しいらのさつまいも揚げ】  
2人分

しいら・・・80～120g（1切れ 40～60g）  
塩・こしょう・・・少々  
しょうが汁・・・小さじ1/3  
卵・・・10g  
薄力粉・・・20g  
油・・・適量

①しいらは1人2切れに切る。

しいらに、塩こしょう、しょうが汁で下味をつける。

②さつまいもは細いせん切りにする。

③溶き卵に薄力粉をふり入れ、衣を作る。

④①に③の衣をつけて、②のさつまいもをまぶし、油で揚げる。

※衣をつけすぎるとさつまいもがつきにくくなります。



## けんみん病院からの お願い

当院を受診される前に…  
近くの「かかりつけ医」を  
受診しましょう。

風邪をひいた時など、日常  
的な診療や健康管理、医療  
に関わることを相談できる  
ような、身近なお医者さん  
のことを「かかりつけ医」  
と呼んでいます。

かかりつけ医は当院の専門  
医でなくてもかまいません。  
患者の皆さまご自身のこと  
をよく知ってくれていて、  
必要な時は、紹介してくれ  
る先生がよいのです。

まずは近所のかかりつけ医  
で受診しましょう。



高度な治療や精密検査が必  
要な場合には、適切な病院  
を紹介してもらって下さい。

当院においてもかかりつけ  
医の診療情報（紹介状）を  
ご持参いただいた方が、ス  
ムーズに診察を行うことが  
できます。



かかりつけ医を受診  
すると次のような  
メリットがあります

○入院や検査などが必要な  
場合、適切な病院・診療科  
を紹介してもらえます。

○家族の症状や健康状態も  
把握しており、もしもの時  
に素早い対応をしてくれる。

○食事面など、日常の健康  
管理のアドバイスをしても  
らえる。

かかりつけ薬局をも  
ちましょう

薬局では患者さん毎の薬歴  
（お薬の投与記録）を作り  
ます。

事前に患者さんの体質や薬  
によるアレルギー歴などを  
確認させていただくことも  
に、処方せんにより調剤し  
たお薬の内容を記録します。

また、複数の医療機関から  
院外処方せんが発行された  
時に、薬歴のあるかかりつ  
け薬局で調剤を受けること  
により、同じ作用のある医  
薬品の重複投与を防いだり、  
異なる医薬品を服用したこ  
とによる副作用などを未然  
に防ぐことができます。



利用に便利な自宅や勤務先  
の近くの薬局、いつでも気  
軽に相談や質問ができる薬  
局など、患者さんがどの  
薬局を利用するかは自由  
です。

お薬を服用する時の注意点  
や副作用の説明を受けたり、  
市販薬との飲み合わせ相談、  
気軽に相談できて信頼でき  
るかかりつけ薬局をもちま  
しょう。  
状況に応じて地域の医療機  
関、薬局を上手に利用しま  
しょう。



## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの**（**薬剤情報提供書・お薬手帳など**）を持って行くようにしましょう！

## 私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

## 第35回 幡多ふれあい医療公開講座



日時：平成28年12月4日（日）

13時開場 13時半開演

場所：四万十市社会福祉センター

内容：

① ご存知ですか？意外と身近なCKD（慢性腎臓病）のこと

幡多けんみん病院  
内科医長

稲田 昌二郎

② 糖尿病 予防と治療の最

前線  
高知記念病院  
糖尿病内科部長

池田 幸雄

参加費：無料  
どなたでも参加できます。

後援：

四万十市・宿毛市・土佐清水市・黒潮町・大月町・三原村・幡多福祉保健所・幡多医師会・高知新聞社・RKC高知放送

みなさま  
お誘いあわせのうえ  
奮ってご参加ください。

【問い合わせ先】

幡多けんみん病院  
(経営事業課)  
(0880)66-2222

\*各市町村担当部署



## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
2. 医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利
3. プライバシーが保護される権利
4. 自分の希望を伝え、自らの意思で選択し、決定する権利
5. 人間としての尊厳が守られる権利
6. 他の医療機関の医師の意見「セカンドオピニオン」を求める権利

統計	9月
外来患者数	10612人
新外来患者数	1534人
新入院患者数	433人
退院患者数	430人
平均在院日数	14.33日
救急車・時間外患者数	1015人
手術件数	118件

